

研師

とぎし

人間国宝
永山光幹

郷土資料館

2月23日(火)～
4月4日(日)

■会期中の休館日

3月1・2・8・15・23・29日
4月1日

■研磨の実演

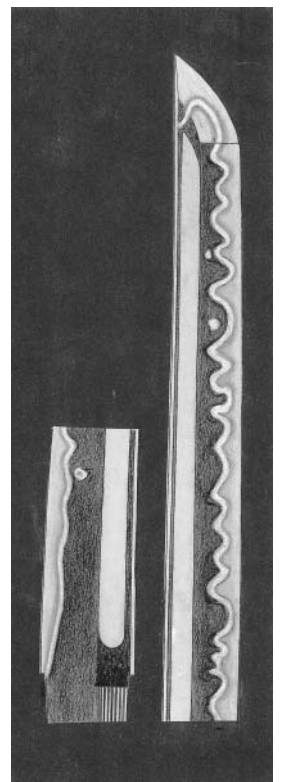
会期中の日曜・祝日に実演を行います。(午前11時・午後2時)
ぜひお出かけください。

2月28日、3月7・14・21・22・28日、
4月4日



▲正装して研ぎの作業を行なう永山氏(昭和50年頃)

現在、郷土資料館では春季企画展として「研師 人間国宝 永山光幹」を開催しています。日本刀は研師によって研磨されて初めて刀工の個性が引き出され、さらに刀の美しさが生まれます。町在住の永山光幹氏は、平成10年に日本刀研磨におけるその卓越した貴重な技術に対し、国の重要無形文化財保持者(人間国宝)として認定されました。永山氏は昭和9年に14歳で刀剣研磨の名家・本阿彌光遜師のもとで研磨修業に入り、やがて本阿彌家免許皆伝として日本刀の保存と普及に努められています。明治期以降、本来の武器としての日本刀から、美術工芸品としての日本刀へと関心が次第に高まります。その一方で、生活様式が大きく変容する社会のなかで、将来にわたる刀剣研磨技術と日本刀の知識の継承を憂慮した永山氏は、従来の徒弟制度



刀剣押形▶
押形とは刀の刃文を知るためのもので、永山氏による画期的な描写方法。

とは異なる研師養成の場として平塚市に永山美術刀剣研磨研修所を開設し、数多くの子弟を世に送り出しました。

また、伝統を尊重しつつも、できるだけ無駄を省き、科学的で合理的な技術の習得と継承を目指し、研ぎの機械化やさまざまな道具の開発にも力を入れるなど、熱い情熱を持ち続けた開拓者でもあります。

展示では、現代における最高の日本刀研磨技術保存者の一人であり、広く刀剣界の発展に貢献されている永山氏の技と心に迫っています。ぜひご覧下さい。

〔後援 公益財団法人日本刀文化振興協会〕

◎問い合わせ

郷土資料館 ☎(61)4700